



**Rotary**



**イマジン  
ロータリー**

2022-23 年度 RI テーマ  
**IMAGINE  
ROTARY**  
国際ロータリー会長  
ジュニアフェア・ジョーンズ

# Weekly Bulletin

## 藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日  
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内  
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000  
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2022-23 年度  
会長：樽井 勉 副会長：渡邊博文 幹事：鈴木寿幸 副幹事：富澤賢一

**例 会 第 1 4 9 2 回 通常例会/小杉苑**

**ソング それでこそロータリー、知床旅情 : ソングリーダー 数野晴紀君**

**■ 会長挨拶**

**樽井勉君**



みなさん、こんにちは。

選抜高校野球の甲子園出場校が決まり、来月には WBC 野球世界大会と球春が近づいてきましたが、盛り上がりには欠けます。どうやら、野球離れに拍車がかかってきたようです。私が少年の頃は、一に野球、二に野球という感じでしたが、今や、サッカーに追いつかれ、追い抜かれたかな?…。1985 年静岡県天城湯ヶ島町に、プロ野球で中日とロッテで二度首位打者を獲得した江藤慎一という選手が、監督として「日本野球体育学校」を設立しました。後年「ヤオハンジャパン硬式野球部」として、都市対抗野球で全国大会に出場したチームです。設立時、元サッカー日本代表の釜本邦茂さんがグラウンドに現れ打席に立ち、エースから本塁打を打った!、と聞きました。

江藤監督が「あんた、もし野球をやっていたら、王、長嶋級になっていたぞ」と驚いたそうです。スポーツ万能な人は、何をやらせても超一流になります。

スポーツ万能な子が、ワールドカップを見て、一部地域の野球から世界規模のサッカーやラグビ

ーなどに興味を移し始めスポーツのすそ野が広がって来ました。夢見る少年達が、様々なスポーツで世界に羽ばたいて行くことは素晴らしいことです。先日の藤枝南 RC 杯 U10 で観た子供たちが「夢を叶える」のもそう遠くはないようです。

**■ 出席報告**

**阿井誠君**

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
39/48 81.25%	43/48 89.58%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○伊藤彰君 ○川口君 ○鈴木照君 ○富澤静君 ○中村君  
○中山君 ○早川君 ○望月君 村松君

(2) メイクアップ者

桑原茂君 (サッカー) 鈴木健夫君 (浜松)  
早川清人君 (藤枝)

**■ スマイルBOX**

**阿井誠君**

- ・初めて頂き、嫁も喜んでいました。  
ありがとうございます。 森下傑君

**スマイル累計額 452,000円**



## ■ 奉仕プロジェクト委員会



**国際奉仕小委員長  
大村和宏君**

最近長崎大学とNECの共同で行われた

「世界で初めてのシステムで、途上国の新生児の命を

救います。」と銘打ったニュースがありました。指紋認証を使って新生児のワクチン接種履歴を管理するシステムを開発したとのこと、すでに実証実験も進められ300人以上のデータを登録、その半数以上の新生児のワクチン接種履歴も登録したとのこと。世界では多くの子供が幼いうちに命を落としており、その多くは、ポリオワクチンをはじめとする適切なワクチン接種など、医療や保健で防ぐことができるとされていますが、このシステムは、今年度中の本格的な導入を目指すとのこと、まことに頼もしい限りであると思いました。

さて、このような管理システムの開発は、昨今日本でも、かなりたかかれはしましたが、コロナ関連のココアや地方自治体の感染者等の報告、集計のシステム化などの開発などなど、だいぶスピーディーになってきた印象があります。ある程度開発が進んだ段階では、実証実験が一番スピーディーな開発手段だと思うのですが、日本では生き物に係る実証実験がしにくいという土地柄もあるように思います。

必要に迫られている国に積極的に技術供与をすることで、日本としても、いわゆるWIN WINの関係を築くことができれば、素晴らしいことだと思います。

また、先のニュースには産学共同というキーワードも含まれています。個人的に今後、産学協同をどのように進めていくのかは大変興味を持っております。我々中小企業がどのように、有効的に参画できるのか、時折思いをはせています。

個人的思いの押し売りではございますが、日本は今後、教育と文化への投資を進めていかないと、今後ずるずると取り残されていくだけ・・・という恐怖心もございます。

例えば、藤枝にキャンパスがある静岡産業大学。個人的には薬学系もつ静岡県立大学は、仕事から何度か足も運んでおりますし、魅力的です。

一般的には研究テーマを募集し、それを採択するんでしょうが、手順を整理しておけば、これだけの方々が集まっている場でございますから、事業にも通じるテーマがかならずやあるのではないかと思います。

そのためには、やはり、皆さんと多くの与太話をすることが必要ですね。

コロナの早期終息を祈念しつつ、終了させていただきます。

お時間を頂きありがとうございました。



**職業奉仕小委員長  
杉浦聡君**

昨年10月～本年1月に渡り、計3回、RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）を受講しました。藤

枝南クラブからは8名の受講で最多でした。1回の講習は50分、これを1日6限受講、これを3回受講ですので、計90分となかなかのボリュームでした。

目的はリーダーの育成と、ロータリーを知ること。リーダーの育成については、ロータリーは単年度制であることを前提に、1年ごとに組織が変わっても、新しいリーダーが同じ理念のもと活動できるようにする為です。ロータリーを知ることについては、いわゆる会社でいうところの本社が発信するグローバルなビジョンを支店の社員が情報共有し、それを実施するためには、何が必要か、何が足りないか、どんな心持ちが大切か、現状のあなたは？あなたの所属クラブはそれが出来ているかどうかなど自己分析します。

ディスカッションを重ねて感じたことは、実のところ変わらなければならないことがすごく多いのだと実感、RIの提唱する「変化をもたらす」を実践する為に、我々藤枝南支店もRIの意向を理解し、更に深化したロータリー活動が求められているってことをひしひしと肌で感じ、とてもやさしい言葉ではありましたが、お上の圧力を感じたしだいです。

さて、お題の「職業奉仕」ですが、このRLIのパート1のセッション③で「倫理と職業奉仕」というカリキュラムがありました。セッションの目標は、ロータリーの指導原則に含まれる倫理観を学ぶ、私たちが共有できる価値観は何か、これ

らの価値観が、自分自身や自分のクラブとどのような関わりがあるのか、というものです。

セッションの問いはこうでした。①あなたはどのようなことを大切にしてお仕事をされていますか？職業観を問うものです。②ロータリーの指導原則にある職業上の高い倫理基準や職業の高潔性をどのように考えますか？職業の高潔性ってそもそもなんですか？③4つのテストはロータリーの職業奉仕を最も簡潔に表した言葉です。あなた自身の職業にこの4つのテストが反映されていますか？④職業奉仕のアイデアの事例があります。こちらはお手元に資料があります。ご覧になってあなたの職業奉仕観はひろがりましたか？というものです。

セッションの問いに対する個々の発言には正解がありません。各社各様のお考え、指導方針が御有りなのだと思います。ただ、明確な指針が無いようであればこのロータリーの指導原則に習い、行動されてはいかがでしょうか。高い倫理観、高潔性、公平性など、会社を、そして、その向こうにある社会全体を良くする一助になるかと思えますってとこでした。

ディスカッションの中でこんなことがありました。他クラブの受講者ですが、造園業の方の発言です「そんなこと言ったって造園業で社会貢献とか、誇りなんてないよ、こじ付けだよ」ってことでした。なかなかの炎上発言でした。自身の会社を「飯の食いぶちとか、営利企業」と捉えていると、少し見解の相違があるのかもしれない。自分の会社を「この地域で社会貢献をするためにこの社会に存在するんだ」というふうに考えると、ちょっと違って見えるものがあるんだと感じます。

ロータリーの会員の皆様は有益で且つ一般に認められた職業の代表者で、職業で良い世評を受け、ロータリーの職業分類の中で選ばれ、そして全会員の推挙によって選ばれています。

セッションの結びにDL（ディスカッションリーダー）の方がこんなことをおっしゃいました。「もっと自分の職業、仕事に誇りを持とう」でした。私自身もちょっと「はっ！」とした瞬間でした。結びになりますが、評判のいい会社の条件に「あそこの会社の社長はロータリークラブに入っているらしいよ、だからあの会社いい会社なんだよ」って言われるくらい、地域の皆様の公共イメージ向上、いわゆるロータリーの認知度が上がったら

すばらしいですよ。



### 青少年奉仕小委員長 平原望君

先ずは改めまして、先月21日から22日に開催されたU10サッカー大会へのご協力ありがとうございます。

開会式、閉会式に参加くださった方々をはじめとして、みなさまのご協力により素晴らしい大会が開催されました。

やはり、子供たちがひたむきに真剣にボールを追いかける姿は見ていて気持ちが良いです。

そしてみなさん、明るく元気で礼儀正しい。加藤さんをはじめとした指導者の方々のご指導の賜物と思いますが、素晴らしいです。

恒例行事となっておりますが、改めて継続してきて良かったと思えますし、これからも継続すべきだと思います。

スポーツを媒介とした青少年育成は、言葉は悪いですが“非常に分かり易くて”良いです。

成長に伴う効果が明確に出易いと思います。

RLIのオンライン研修において、他クラブの取組を知ることが出来ましたが、やはりサッカーや野球大会といったスポーツ大会を媒介とした青少年育成に取り組んでいるクラブが見受けられました。

ただ今後に関しましては更に、スポーツに限らず様々な分野を活用して青少年の知識やスキルアップに貢献する方法もあると思います。

世界に羽ばたき世界に通用する人材育成の為に、外国語習得のサポートをするとか、ロータリークラブには優れた経営者の方が多くいらっしゃるの、様々な場面におけるマネジメント力育成のサポートをしたり、今後更に盛んになってくるであろう起業、スタートアップに関する知識取得のサポートをしたりと、様々な分野におけるサポートが可能であると思います。

今密かに、藤枝市はスイーツの名店が多い“スイーツの激戦区”等と言われている様ですが、優れたパティシエ排出のサポートをするなどの企画もあるのでしょうか？！

いずれにしても、地域の特性も十分に踏まえた青少年育成に貢献すべきだと思いますので、藤枝市の行政サービスや商工会議所の活動方針等と連携して、具体的なサポート内容を模索していけ



ば良いのではないかと思います。

### 社会奉仕小委員長 鈴木照寛君

本日の例会担当の奉仕プロジェクト委員会には、四つの小委員会があります。すなわち ①職業奉仕小委員会 ②社会奉仕小委員会 ③国際奉仕小委員会 ④青少年奉仕小委員会 となっています。これは、ロータリーの四大奉仕に準じて、「藤枝南ロータリークラブ」の解釈をもつての構成でしょう。ちなみに四大奉仕とは、①クラブ奉仕 ②職業奉仕 ③社会奉仕 ④国際奉仕 となっております。国際ロータリーでは、社会奉仕活動に対する方針として、二回採択されています。一つは一九二三年国際大会での採択、もう一つは一九九二年規定審議会で採択されました。ここで、それぞれの声明の前文の一部を申し上げます。

「社会奉仕に関する一九二三年の声明」

ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。(以下省略)

「社会奉仕に関する一九九二年の声明」

一九九二年規定審議会は、社会奉仕に関する次の声明を採択した。ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することである。この奉仕の理想を実行するに当たっては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、多くの会員による奉仕活動に輝かしい機会を与えてきた。ロータリアンの心構えとして、また、社会奉仕活動に関するロータリーの方針を明確にするために、その原則は、次のようにまとめられる。社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共の為に奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、また、ロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。(以下省略)

要は、「社会奉仕活動は、ロータリークラブにとって、またロータリアンにとっても重要なことから、各クラブで考えて行動しなさいよ」と言う事なのかなと思いました。

私は、内山年度に入会させていただきましたが、入会にあたってロータリーは職業奉仕だと教えて頂きました。十分に理解できませんでしたが、自分の中では、藤枝成田山を御守護することで精一杯。とても慈善活動やボランティア活動をする

時間的余裕と経済的余裕が無いので、ロータリアンになることで、地域社会に貢献することになるのかなという思いで入会させていただきました。

今年度の樽井会長は、ロータリークラブ独自の「職業奉仕」を主軸に親睦を深めることを示されました。今年度の静岡第四グループの海岸清掃作業は、社会奉仕作業に他なりません。藤枝南ロータリークラブとしては、会員の親睦機会と捉え、傘下の運びになりました。大がかりな社会奉仕活動は、各種団体や行政、何よりもロータリークラブのことを知らない多くの市民へのアピールになります。公共イメージの向上に繋がり、ロータリークラブの存在意義高揚ではないかと思いません。今後は、藤枝南ロータリークラブとしての社会奉仕に、どう向き合うかとわれることもあるでしょうが、藤枝南ロータリークラブ独自路線の中で、何ができるかを考えていきましょう。

### 奉仕プロジェクト委員長 瀧脇一啓君



私は、ロータリークラブの奉仕とは職業を通じて社会に奉仕することと理解しています。会員の企業が、多く人を雇用している

のも立派な社会奉仕に他なりません。しかし、残念ながら障害者法定雇用率を達成している企業は四八%にすぎません。現在は常時雇用する労働者の総数に対して、2.3%以上の障害者を雇用することが義務付けられていますが、厚生労働省は先月一八日の審議会で、来年四月から2.5%、二六年七月には2.7%に引き上げることにしました。一定数(現在は43.5人)以上の従業員を雇用している事業主は障害者の雇用義務があり、常時雇用100人超えで障害者雇用率未達成の事業主は不足人数1人当たり月額5万円を納付しなければなりません。

障害者が職場に定着するには時間が掛かりますが、障害者雇用促進法では障害者雇用調整金や中小企業向けの報奨金、短時間しか働けない障害者を雇用した場合には特例給付金などの支援制度があります。これらの制度をご活用いただき、障害者雇用を職業奉仕として考えていただければ幸いです。

# 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
2/17(金) 第 1493 回	早朝例会	
2/24(金) 第 1494 回	会員卓話	小杉苑
3/3(金) 第 1495 回	IGM 報告	小杉苑
3/10(金) 第 1496 回	IGM 報告	小杉苑

RLI 修了者



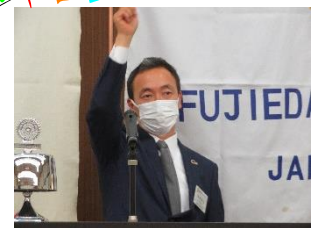
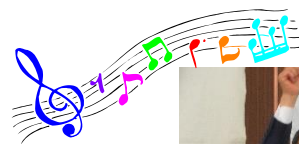
## 今週の一言

佐野芳正君



趣味で奈良漬を作っています。  
6年前、ウリの在来種の種を手に入れました。  
4月に種を播き、7月に収穫します。  
塩漬をし、天日に

干して、酒粕とザラメで7か月漬け込みます。  
塩の量、乾燥の日数、ザラメの量などの条件で味が変わり、これまで一度も同じものはできませんでした。  
皆さんに試食をしていただくよう食卓に用意しました。



## パーフェクト例会

欠席者は事前連絡をお願いします

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	7~1月 累計		2月3日	2月10日	
	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計					
例会時 食事	準備数	201	81	171	130	132	187	111	1013	準備数	42	42
	提供数	198	77	169	129	130	184	109	996	提供数	42	41
	食事残	3	4	2	1	2	3	2	17	食事残	0	1
	達成率	98.5%	95.1%	98.8%	99.2%	98.5%	98.4%	98.2%	98.3%	達成率	100%	98%

パーフェクト例会数 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(担当/杉山君)